

2013年8月26日

## 饗庭野日米合同演習へのオスプレイ参加に反対する申し入れ

日本共産党滋賀県委員会

委員長 奥谷 和美

日本共産党京都府委員会

委員長 渡辺 和俊

日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所

陸上自衛隊と米海兵隊が10月に滋賀県高島市の陸自・饗庭野演習場でおこなう戦時想定の日米共同訓練に、米軍普天間基地に配備されたMV22オスプレイを参加させると報道されている。われわれは日米合同演習とともに、演習へのオスプレイ参加に強く反対する。

オスプレイは開発時から、そして配備された世界各地で墜落事故を起こしている欠陥機であり、大阪府八尾市など配備が取りざたされた自治体や住民から反対の声が巻き起こっている。饗庭野演習でもオスプレイが事故を起こさない保障はない。これまでも饗庭野に飛来するヘリコプターなどによる騒音公害、墜落の恐怖など住民の苦情は絶えない。オスプレイの訓練が強行されれば、住民の命と安全の危険はこれまでの比ではない。また移動時に京都をはじめ近畿各府県の上空を通過することは必至である。

沖縄では米軍ヘリが墜落し、その原因究明も行われないうまま、事故から一週間後にオスプレイの追加配備が強行され、沖縄は大きな怒りに包まれている。沖縄県民の総意は、今年1月、沖縄の全自治体と地方議会が安倍晋三首相に提出した「建白書」で明らかのように、「オスプレイの配備を直ちに撤回すること」「米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること」である。

オスプレイのさらなる受け入れや、訓練を全国に広げることは許されない。ましてや安倍政権と防衛当局が、饗庭野での合同演習へのオスプレイ参加を口実に、沖縄県知事に対して辺野古への新基地建設への協力を求めるなど言語道断である。以上から下記の諸点を申し入れる

### 記

- 一、報道されているオスプレイ参加訓練の目的・期間など全容を明らかにすること。
- 一、饗庭野演習場での日米合同演習へのオスプレイ参加は行わないこと。同演習は中止すること。
- 一、オスプレイの沖縄配備は中止・撤回すること。全国各地への新たな配備、オスプレイの訓練は行わないこと。

以上